

Automotive SPICE® v3.1 – プロセス解説コース

このコースは、ISO 33k標準に基づくAutomotive SPICE v3.1の主要プロセス（VDAスコープ）の理解を促進することを目的とし、主としてシステム / ソフトウェア開発に関わる方が、Automotive SPICEの規定項目と実際の開発作業をマッピングし、改善を進める上で把握すべきプラクティスの基本を講義および演習を通じて学びます。

このコース受講のゴールは次のように定めています。

- Automotive SPICEの概要と構成の理解
- VDAスコープのプロセス/プラクティスと対応する作業成果物の理解
- Automotive SPICEのプラクティス間の流れの理解
- 自社での開発作業とAutomotive SPICEの規定項目の対応イメージ確立

コースの目的

このコースでは次のことを学びます：

- Automotive SPICEの概要と構成
- VDAスコープの各プロセスとプラクティスの意図の正しい理解
- 同各プラクティスの具体的な適用

コースの成果

コース修了後、下記の効果が得られます：

- 各プロセスとプラクティスの正しい理解と適用により、組織的な改善が効率化される。
- Automotive SPICEのアセスメントに備えることができる。

コースの形式

本コースは、プレゼンテーションと演習で構成されています。

コーステキストなどを教材として配布致します。テキストは全32プロセスに対応しておりますが範囲はVDAスコープのプロセスです。また、コースの最後に理解度確認テストを実施します。

対象者

- Automotive SPICEを理解したいシステム / ソフトウェア開発者の方
- Automotive SPICEを理解したいプロジェクトマネージャー、品質保証担当者、改善推進者の方
- Automotive SPICEに興味をお持ちの方

コースの内容

- Automotive SPICEの構造
- Automotive SPICEのプロセス（プロセス座標）
- プロセス間の関係
- Automotive SPICEの能力レベル（能力座標）
- Automotive SPICEの構成
- プロセス実施指標解説

（VDAスコープのプロセス）

- 要件抽出
- システム要件分析
- システムアーキテクチャ設計
- システム統合及び統合テスト
- システム適格性確認テスト
- ソフトウェア要件分析
- ソフトウェアアーキテクチャ設計
- ソフトウェア詳細設計及びユニット構築
- ソフトウェアユニット検証
- ソフトウェア統合及び統合テスト
- ソフトウェア適格性確認テスト
- プロジェクト管理
- サプライヤー監視
- 問題解決管理
- 変更依頼管理
- 構成管理
- 品質保証
- プロセス能力指標解説（能力レベル1～3）
- プロセス実施プロセス属性
- 実施管理プロセス属性
- 作業成果物管理プロセス属性
- プロセス定義プロセス属性
- プロセス展開プロセス属性

※ 本コースはコンピュータジャパン、富士通クオリティ・ラボの共催によりご提供しています。

※ 本コースを修了することにより、PMP認定者は12PDUを申請することが可能です。

® Automotive SPICEは、Verband der Automobilindustrie e.V (VDA)の登録商標です。

© Compita Japan, 2020

お問合せ

• コンピュータジャパン

<http://www.compita-japan.com>

